
セーブデータ

ゆとり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

セーブデータ

【Nコード】

N3942Y

【作者名】

ゆとり

【あらすじ】

人生にセーブとロードがあったら・・・

もしそんなことができたなら人はどう人生を過ごしていくのか。今回は普通の大学生石田典夫の話です

石田典夫編

<<石田典夫編>>

みなさんはじめまして石田典夫と申します。

「のりお」と呼ばれてしまうのですが読み方は「ふみお」です。
まあ友人からはノリオと呼ばれています。

「・・・俺は誰に自己紹介をしているんだ」

落ち着け！今自分に起こっている出来事を理解するんだ！

ノリオは興奮していた。高揚する気持ちを抑えられないのと多少の恐怖。

現在の時刻 8月11日23時11分

時間は遡り「2日前」のこと。

8月11日の朝ノリオこと典夫は目覚める。

ノリオは三流大学の3年生。

スペック・・・

顔 イケメンではないがブサイクでもない

頭 悪くないが良くもない

金 バイトはしているがギャンブルが好きで毎月財布はギリギリ

まあそこらへんの大学生である。

3年生の前期だが取得単位数がギリギリなので朝から学校に行かねばならない。

めんどくせえ・・・そう思いながら体を起こす。

一人暮らしだが学校周辺の貸家は家賃が高いので少し離れた所に住んでいた。

この辺りは割と栄えている。登校の間も出勤していくサラリーマンや学生にたくさんすれ違う。

ぼーっとながら歩いていると声をかけられた。

「お兄さん大学生ですか？」

街頭アンケートか何かか・・・胡散臭いスーツを着た男だった

「すみません少し急いでますので・・・」

「いえ、お時間は取らせませんよ！お使いの携帯はなんですか？」

「えーつとI P h o n eですけど・・・」

はあ・・・押しに弱い俺は。めんどくさいと思いながらも答えてしまう

「そうでしたか！実は今我が社が開発したアプリを実験的に皆様に使っていたいただいているんです！つまらなかったら削除していただいでよろしいので是非！」

「はあ・・・いいですけど」

いいと言わなければ引き下がらなそうだったので言われた通りに渡された紙のURLに飛ぶ。

「面白いと思ったら感想をお聞かせください！こちら名刺なので
はいはいわかりましたと空返事しながら男から解放される。
授業遅刻じゃねえかよ・・・急ぎ足で学校に向かう。」

学校についた頃にはさっきの出来事は忘れていた。
何事もなくいつも通りに授業が終わり直ぐ様帰宅。暇だしパチ屋で
も行くか

・・・朝の自分に戻りたい
こっぴどく負けて晩飯を買って帰る。

うつつ・・・給料日まで2週間あんのにどうすんだよー！！と後
悔しながらベッドに倒れ込む。

ふと朝の出来事を思い出す。

面白いアプリだったら気晴らしくらいにはなるかな、そんな程度だ
った。

アプリを開く・・・アプリの名前は「人生のRPG」ネーミングセ
ンスねえなwwと思いつながら起動する

どうやって遊ぶんだ？読むのがめんどくさい利用規約は読むのを飛
ばす。

【このアプリは文字通りあなたの人生をRPGにしてしまうアプリ
です。RPGと言ってもモンスターがでるわけではありませんがあ
なたの人生に「セーブ」と「ロード」機能が付きます】

・・・バカバカしい

アプリには「セーブ」と「ロード」というボタンだけ。

は？ふざけてんの？と思いながらも「セーブ」ボタンを押す。

一瞬頭が痛くなった気がした

なんだ今の？とは思ったがなんだこのくそアプリとすぐ寝てしまった。

そして2日後。

授業がないので朝からパチ屋に並ぶ。今日負ければ生きていけない・

結果は惨敗。残り10日あまりを2000円で過ごさなければならなくなつた。

只今の時刻 8月13日20時58分

うわああ！後悔しても時間と金は戻らない。晩飯を購入して帰宅する。今日は貧相にカップ麺にした。

カップ麺にお湯を入れて待つ間何気なくこの間のくそアプリを開いてみる。ロードか・・・本当にロードできるならしてえよ！ロードボタンを押した。

目の前が・・・歪む。

頭痛と軽い吐き気が襲う。

な・・・んだ・・・!?

少しづつ頭痛が治まる。

なんだったんだよ今は・・・。

そして違和感を覚える。お湯を入れておいたカップ麺が・・・ない。

よく見ると部屋にあったものの配置が違つ。

まさか・・・！？時刻を見る

8月11日23時11分

そして話は冒頭に戻る。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3942y/>

セーブデータ

2011年11月10日11時04分発行